
1章

水道ビジョンの策定趣旨と位置付け

1-1. 策定の趣旨	2
1-2. 位置付け	3
1-3. 計画期間	3
1-4. 群馬東部水道企業団水道ビジョンの基本理念と理想像	4

1章 水道ビジョンの策定趣旨と位置付け

1-1. 策定の趣旨

群馬東部水道企業団（以下、「企業団」という。）は、平成28年4月に太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の3市5町の水道事業を事業統合（水平統合[※]）し、平成25年7月に策定した「群馬東部水道広域化基本構想」における基本理念「持続可能な水道による安定した水の供給」に基づき水道事業を運営してきました。

令和2年4月には、群馬県の東部地域にある群馬県企業局の2つの用水供給事業[※]（「新田山田水道」及び「東部地域水道」）との事業統合（垂直統合[※]）を実現させ、スケールメリット[※]を活かした施設のダウンサイズや効率的な事業運営を実施することで、安全性の向上や経費削減を実現しています。

しかし、現在の水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。増え続けていた人口は減少に転じ、水道水の需要の減少や生活様式の変化による節水意識が向上したことで、料金収入も減少しています。また、高度経済成長期に整備した水道施設の老朽化が進んでおり、施設の更新が必要となっているだけでなく、頻発化・激甚化する自然災害への対策も必要となっており、施設整備に必要とされる費用は増加の一途をたどっています。

このような水道事業を取り巻く環境の変化を受け、厚生労働省では、平成25年3月に「新水道ビジョン」を発表し、今から50年後、100年後の将来を見据えた水道の理想像とその理想像を具現化するために取り組むべき事項・方策を提示しています。

さらに、平成30年12月には、人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、水道の基盤強化を図るため、水道法を改正しています。

そこで、企業団においても、持続可能な水道による安定した水の供給を未来につなげていくためには、変化し続ける課題に対応していかなければなりません。そのためにも、企業団をはじめとした水道事業に携わる人だけでなく、利用者の皆さまと水道事業の現状や将来のビジョンを共有し、変化する課題を協力して解決していくことが重要であると考え、群馬県の東部地域に根差した水道を作り上げる礎となる「群馬東部水道企業団水道ビジョン」を策定しました。

コラム 水平統合と垂直統合

水平統合と垂直統合は、どちらも広域化[※]の形式であり、事業の統合を行うものです。水平統合は複数の水道事業の統合を行うもので、垂直統合は用水供給事業と末端給水事業[※]の統合を行うものです。

用水供給事業とは、水道事業へ浄水の卸売を行う事業のことです。水平統合は小売業者同士の業務提携、垂直統合は小売業者と卸売業者の提携に例えることができます。

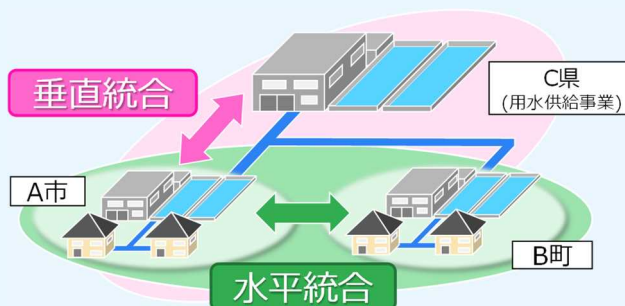


図 1-1 水平統合と垂直統合のイメージ

1-2. 位置付け

これまでの企業団の方針は、企業団創設に向けて平成25年に策定した「群馬東部水道広域化基本構想・計画」と群馬県企業局の用水供給事業との垂直統合へ向け平成30年に策定した「群馬東部水道事業垂直統合基本構想」と、令和元年に策定した「群馬東部水道事業垂直統合基本計画」によって定められていました。この度策定する「群馬東部水道企業団水道ビジョン」では、この2つの計画の内容を反映するとともに、計画の実施状況や現れた効果を評価し、将来の取組みへの指針とします。

また、厚生労働省が平成25年に公表した「新水道ビジョン」や群馬県が令和2年に公表した「群馬県水道ビジョン」と、構成団体^{*}の総合計画^{*}の内容との整合を図ります。

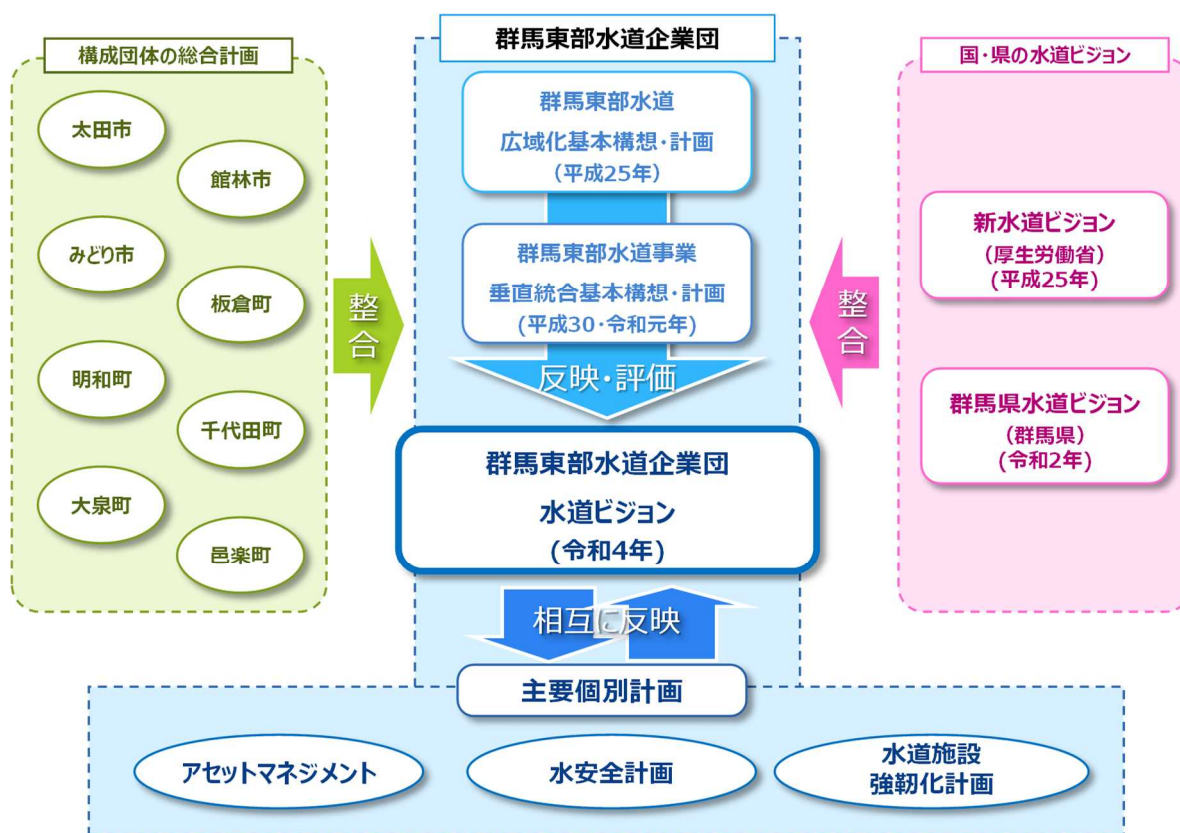


図 1-2 水道ビジョンの位置付け

1-3. 計画期間

「群馬東部水道企業団水道ビジョン」では、水需要をはじめとする諸条件の変化を反映した上で、中長期的視点に立った水道事業の将来像を設定し、令和4年度から15年度までの向こう12年間を計画期間とします。

1-4. 群馬東部水道企業団水道ビジョンの基本理念と理想像

群馬東部水道企業団水道ビジョンの基本理念と理想像を以下のように設定しました。

【基本理念】

信頼を未来につないでいこう 群馬東部の水道

地域住民の皆さまに「信頼」され続けるために、企業団職員が一丸となって理想像に近づくための努力を続けます。そして、皆さまの信頼を「未来へつなぎ」、世代を超え地域一体で水道事業を運営していきます。

【理想像】

安全できれいな水道

水源水質の悪化や水運用の変化等の課題に対して、良質でいつでも安心して飲める水道を目指します。

強靱で安定した水道

施設の老朽化や災害の頻発・激甚化に対して、災害に強く非常時にも水を届けられる水道を目指します。

健全経営を持続する水道

技術喪失や財政圧迫、利用者ニーズの多様化や社会環境の変化に対して、組織力と財政基盤を強化し事業を経営するとともに、高いサービス水準と社会環境に対応できる水道を目指します。

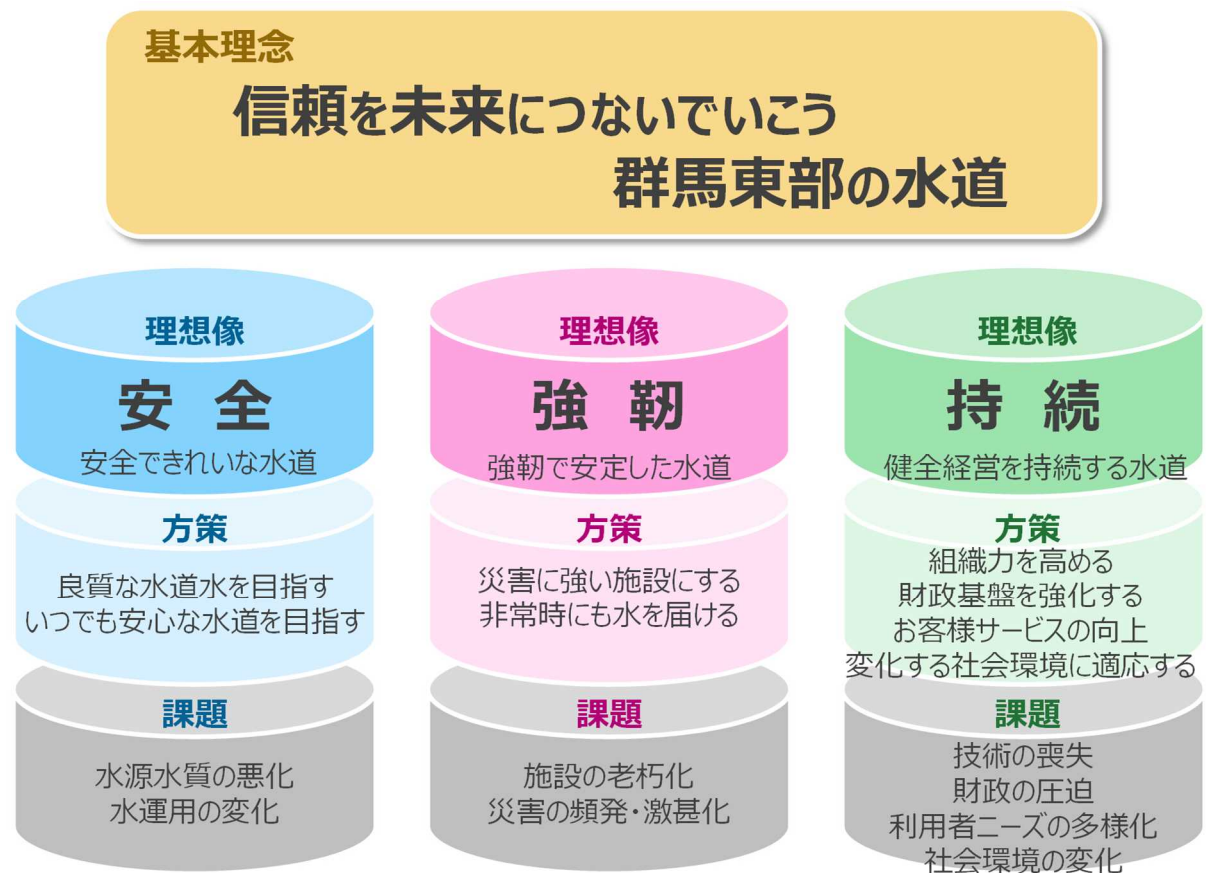


図 1-3 群馬東部水道企業団水道ビジョンの基本理念と理想像